

—未来をひらく—

# 竜爪山 九条の会

りゅうそうざん  
きゅうじょうのかい

会報 2013年11月発行 通巻27号

発行／竜爪山九条の会・事務局

〒420-0812 静岡市葵区古庄3-19-34 五井卓方

TEL・Fax 054-264-4918

E-mail ryusouzan9zyo@ymail.plala.or.jp

URL <http://www3.plala.or.jp/ryusouzan9/>



# 秘密保護法

## 竜爪山九条の会の皆さんとすべての皆さんへのアピール

安倍内閣は「戦争する国づくり」をめざして暴走しはじめました。今、日本国憲法は大きな試練の時を迎えています。

安倍内閣は、歴代内閣の下では「許されない」とされてきた集団的自衛権行使に関する憲法解釈を転換して、日本が武力攻撃を受けなくとも、アメリカと一緒に海外で戦争できるようにしようとしています。

この企ては、本来なら衆参両院の三分の二と、国民投票の過半数の賛成という、憲法改正の手続きを経なければ許されないことを、閣議決定で実現してしまうという全くとんでもない企てだといえます。安倍首相はこの企てを実現するために、従来政府に憲法解釈を支えてきた内閣法制局長官の入れ替えまで行いました。

それだけではありません。安倍内閣は、防衛外交に関する情報を国民から覆い隠し首相に強大な権限を集中する「特定秘密保護法案」「国家安全保障会議創設関連法案」を国会に提出。すでに「国家安全保障会議法案」を衆院本会議で強行可決させました。これらの企てが実現すれば、憲法の条文改正を待つまでもなく、憲法九条が変えられてしまいます。

戦前、日本国民は、全ての抵抗手段を奪われて侵略戦争の泥沼に巻き込まれた苦痛を味わった経験を持っています。しかし、今、私たちは国政の最高決定権を持つ主権者であり、侵略戦争の教訓を生かした世界に誇るべき九条を含む日本国憲法を持っています。

今こそ、憲法九条を守るという一点で手をつなぎ、草の根から安倍内閣を包囲し、その暴走を食い止めるために行動しようではありませんか。このことをぜひ周りの方にお伝え下さい。

2013年11月7日

竜爪山九条の会

# 秘密保護法がつくられたら…

## とことん秘密法



↑ 4コママンガ「とことん秘密法」  
平和新聞（2013年11月5日発行）  
2032号より転載

たまたま撮ったヘリコプターの写真をインターネットにのせたら逮捕された。ツイッターに「いいこと」が書いてあったので、自分もそれをツイッターに書き込んだら逮捕された。スーパーで顔見知りの奥さんと、福島原発の汚染水の話をしていたら、警察へ引っ張られてしまった。「まさか!」と思うようなことが、秘密保護法がつくられると、「現実のこと」になるかもしれません。そして、今、その秘密保護法が国会でつくられようとしているのです。

「秘密」というのは、何が「秘密」かも「秘密」です。秘密をもらしたり、秘密を知ろうとしたら、つかまってしまうのですから、国会議員は国会で政府を追及できなくなるし、マスコミは「秘密」がありそうなことは、取材や報道をしなくなります。私たちも、「つかまるかもしれない」と思うと、自由にモノが言えなくなります。そんな不自由な日本になって良いのでしょうか。

秘密保護法がつくられると、日本国憲法は大きく制限されてしまいます。戦前の暗黒の「日本を取り戻す」、その出発点になる秘密保護法。つくらせるわけにはいきません。

## 秘密保護法の目的は・・・？

日本の安全保障に関する一定の事項のうち、とくに秘密にしておく必要のあるもの（特定秘密）を保護すること。特定秘密をもらした人や、もらすように働きかけた人は罰せられます（懲役10年以下）。

## 「特定秘密」とは・・・？

「特定秘密」に指定されるのは、①防衛、②外交、③外国の利益を図る目的で行われる安全脅威活動の防止、④テロ活動防止、などに関する事。つまり、自衛隊や米軍に関する事ばかりでなく、TPP交渉の内容、シリア情勢への対応なども「特定秘密」に指定される可能性があります。また、「テロ対策」を名目にする、原発のことはもちろん、道路標識に至るまで「特定秘密」に指定することができ、身近な生活まで入りこんでいきます。磯崎首相補佐官が示しただけでも、「特定秘密は40万件」（静岡新聞：11月2日）。総理大臣などが指定すれば、どんどん増えていきます。とにかく、何が秘密か明らかにされないため、なぜ逮捕されたのか、裁判でも明らかにされません。そして、「特定秘密」は永久に秘密にすることもできます。

## 「特定秘密」に接することができるのは・・・？

適性評価によって、「特定秘密」をもらすおそれがない、と認められた公務員などが接することができます。評価にあたっては、本人はもちろん、家族・親戚・関係者など広く調査されます。外国人と結婚していることもマイナスの材料になると言われています。「特定秘密」は必要上、他の行政機関や企業にも提供されることがあるので、提供を受ける側でも適性評価が必要になってきます。

## なぜ、今、「秘密保護法」・・・？

安倍内閣は、外交・安全保障政策の司令塔となる日本版「国家安全保障会議（NSC）」をつくって、アメリカといっしょになって、外国で軍事行動できる日本にしていこうと考えています。そのためには、日米で共有する秘密を、日本側からもれないようにする必要があります。

福島第一原子力発電所の事故は、収拾のメドも立たない危機的な状況になっています。放射性物質が含まれたキケンな汚染水はもれても、起きている深刻な事態は原発内に完全に「ブロック」したい。それが安倍首相の本音です。

安倍首相や、それに同調する人たちがめざしている国家は、日本国憲法をなくし、軍隊をもち、天皇を国家元首にして、実際には一部の人たちが政治を進めていく国家です。国会も力がなくなり、私

たちの自由も大きく制限されます。戦前の日本に逆もどりさせていくという、大きな「計画」の第一歩が秘密保護法です。これを通せば、この先、つぎつぎと計画が進められ、秘密保護法も、いつしか治安維持法に変えられてしまうかもしれません。

## 静岡新聞でも . . .

【解説】政府が持つ膨大な秘密を背景に、閣僚ら行政機関の長が安易な秘密指定に走りかねない懸念が出てきた。

【秘密保護法案「反対」77%】9月に政府が一般から意見を募ったパブリックコメント（意見公募）には約9万件の意見が寄せられ、うち77%は「反対」だった。

【秘密の肥大化は弊害だ】よその国に秘密を守ってほしいという米国が、他方でその国の秘密を強引な方法で集めていることも異様に見える。（ドイツのメルケル首相に対するアメリカ国家安全保障局の盗聴疑惑に関連して）

（いずれも「静岡新聞」11月2日、朝刊）

## 藤原紀香さんはブログで . . .

国が「この案件は国家機密である」と決めたことに関しては、国民には全く知らされないことになり、放射能汚染、被爆などのことや、他に、もし国に都合よく隠したい問題があつて、それが適用されれば、私たちは知るすべもなく、しかも真実をネットなどに書いた人は罰せられてしまう。なんて恐ろしいことになる可能性も考えられるというので、とても不安です。（略）原発の問題や放射能の問題は、国民が知るべきことだと思うので、その国家機密にあたる範囲がどこまでなのか、曖昧なのが問題なのだと思います。

（9月14日）

